

泌尿器科：専門医教育プログラム

手術支援ロボット ダ・ヴィンチXiに加え 全国4番目ダ・ヴィンチSP導入完了

- ✓ 泌尿器科は尿路疾患から、男性生殖器系、女性の骨盤疾患にいたるまで、比較的広い領域の治療を専門分野とする科であり、**外科であると同時に内科的な疾患管理**も行える
- ✓ 専門領域として、小児泌尿器科、泌尿器腫瘍（オンコロジー）、腎移植、尿路結石、尿路感染症、女性泌尿器科などがあり、**サブスペシャリティーが豊富**
- ✓ 泌尿器科は救急疾患の少ない科で、ほとんどの手術を予定手術で行なうことができ、**「自身のライフスタイルを自分で決定する事」**が可能
- ✓ ロボットや最新レーザーを備えた手術室を備え、年間300例以上の手術症数例があり、**若手が執刀医**となれる手術が多い
- ✓ 泌尿器科的な画像研究、医工連携、新規抗がん剤や排尿に関する薬剤の開発も盛んであり、**数多くの臨床研究および基礎研究のテーマが存在**する

ロボット手術をはじめ低侵襲手術を積極的に行っています

376件 / 2023年実績

体外衝撃波結石破砕術（ESWL）	15件	経尿道的膀胱腫瘍切除術	126件
経尿道的尿路結石破砕術（TUL）	109件	膀胱全摘除術（鏡視下）	3件
経尿道的前立腺レーザー蒸散術	18件	前立腺全摘除術（鏡視下）	3件
腎悪性腫瘍手術（鏡視下）	33件	前立腺全摘除術（ロボット）	57件
経尿道的前立腺切除術	1件	腎尿管全摘膀胱部分切除術（鏡視下）	12件

腹腔鏡による低侵襲手術を積極的に行い、ツリウムレーザーによる蒸散術、内視鏡を用いたレーザー碎石術など最新治療を取り入れ、若手が執刀医となれる手術が多くあります

後期研修医1年目で経験できる症例数

- ▶ 自分が望んだだけ、症例数を経験できる教育環境



入院症例数

200例/年



後期研修医
執刀数

70例



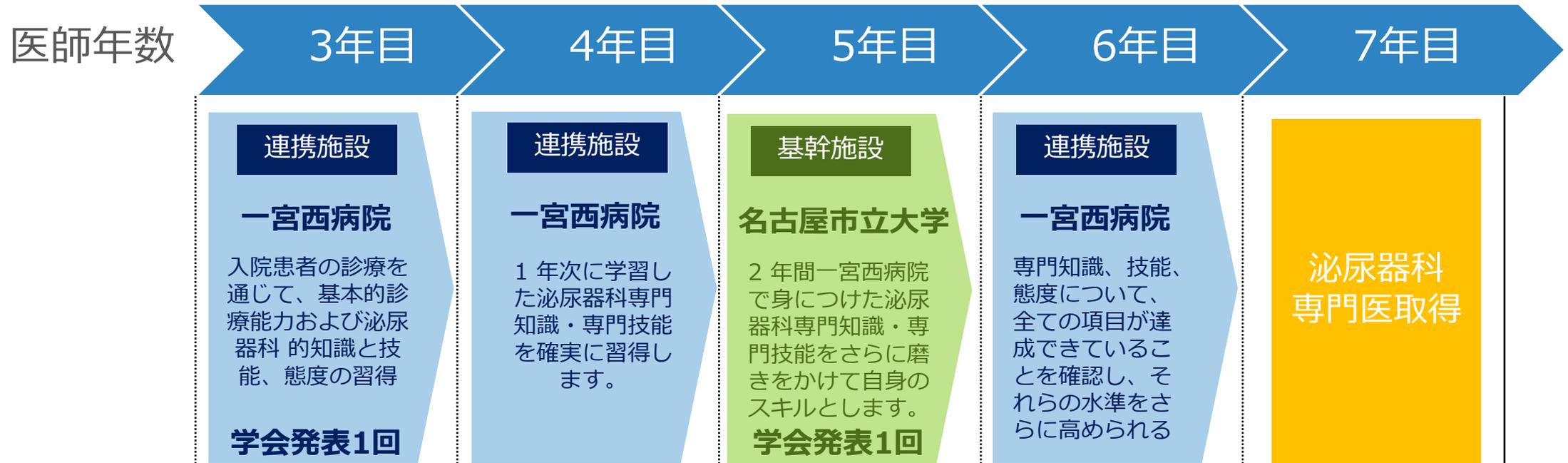
助手件数

100件

泌尿器科は最新医療を取り入れ、若手が執刀医となれる手術も多くあります



泌尿器専門医研修



専攻医1～2年目の2年間は一宮西病院で研修を行います。主担当医として入院から退院く初診・入院～退院・通院＞まで経時的に行う「診断」「治療」「手術」を通じて、全人的医療のできる泌尿器科医を目指します。

泌尿器科医としての到達目標

卒後
6ヵ月後

泌尿器科専門知識として、発生学、局所解剖、生殖生理、感染症、腎生理学、内分泌学の学習
泌尿器科専門技能として、泌尿器科診療における各種症状・徴候からの鑑別診断、泌尿器科診療に必要な診察法、検査法を学習
医療安全、院内感染制御の基本を修得し、実践すると共に、これらに関する院内活動に参画
患者・家族に対する適切な手術説明・インフォームドコンセントの方法を修得
術式を理解し、一般的手術の執刀、専門的手術への助手としての参加を行う、また周術期患者の術前・術後管理、全身管理を学ぶ

卒後
12ヵ月後

日本泌尿器科学会関連の学術集会に参加し、日本泌尿器科学会東海地方会において1回以上の学会発表を行う
執刀手術（一般的手術）：経尿道的膀胱腫瘍切除術、経尿道的膀胱結石破碎術、経尿道的膀胱異物除去術、経尿道的前立腺レーザー蒸散術、尿道カルンクル切除術、精巣固定術、精巣捻転手術、精巣水腫・精索水腫根治術、精管切断術、包皮環状切除・背面切開術など
泌尿器科的処置の実践：膀胱タンポナーデ・凝血塊除去術・経尿道的膀胱凝固術 急性尿閉に対する経皮的膀胱瘻造設術・尿管ストント留置・経皮的腎瘻造設術

卒後
18ヵ月後

発生学、局所解剖、生殖生理、感染症、腎生理学、内分泌学の泌尿器科専門知識を理解・熟知し、実臨床に応用する
泌尿器科診療における各種症状・徴候からの鑑別診断
泌尿器科診療に必要な診察を実施し、検査結果の解釈を行い、臨床応用する
膀胱タンポナーデ、急性尿閉、急性腎不全に対する全身管理ができる
専門的手術の術式を理解し、適切に適応を選択した上で、患者・家族に説明する

卒後
24ヵ月後

患者の問題を把握し、問題対応型の思考を行い、生涯にわたる自己学習の習慣を身に付ける
学術集会に参加し総会および東海地方会で発表を行い、1編以上の論文を筆頭著者として執筆
専門的手術について周術期の全身管理と対応ができる
執刀（一般的手術・専門的手術）：腹腔鏡下根治的腎摘除術、腎尿管全摘除術、経皮的腎瘻造設術、膀胱瘻造設術、膀胱部分切除術、経尿道的尿管結石碎石術、経皮的腎碎石術、膀胱切石術、尿管皮膚瘻造設術、など

カンファレンス

金曜日午後にカンファレンスを開催
診療科全員でしっかりと治療計画を立てます

1. 入院患者の共有
科全体の入院患者を共有します
2. 相談症例
治療方針等いつでも相談できる環境です
3. オペ予定のスケジュール共有
次週のオペ内容を確認します



永田 大介

ながた

だいすけ

泌尿器科

部長

泌尿器疾患の罹患者は増加傾向であり、
高齢化社会では泌尿器科の需要は増加する

いち早く、一人前の泌尿器科医の育成

- ・優れた手術力のある医師
- ・患者さんや医療スタッフに尊敬される医師
- ・人間力のある医師

地域に信頼できる泌尿器科、しいては地域の
医療レベルを向上できるような泌尿器科を
目指し日々、自己研鑽に励む

